

# 安曇野 AIR

アーティスト・イン・レジデンス

# 2025

長野県 × 東京藝術大学

活動  
報告書

安曇野市教育委員会

気と景  
配と色

石井淳

JUN ISHII

堀田光彦

MITSUHIKO HOTTA

大竹麟花

RINKA OTAKE





# 石井 淳

Jun Ishii

Instagram ▶ @ jun\_01410



## 1986 年

神奈川県生まれ

## 2016 年

金沢美術工芸大学 / 東京藝術大学 / 京都市立芸術大学 染織専攻学生選抜展  
「つながる糸ひろがる布」(金沢 21 世紀美術館市民ギャラリー、石川県)

## 2017 年

NIF・YOUNGTEXTILE2017 美術芸術大学 2016 年度学生作品選抜展  
(東京ビックサイト、東京都)

## 2019 年

東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 染織分野 修了  
東京藝術大学 美術学部 工芸科 染織研究室 教育研究助手 着任

## 2023 年

東京藝術大学 美術学部 工芸科 工芸研究室 教育研究助手 着任

## 2024 年

第 4 回東京藝術大学 清華大学美術学院 テキスタイル交流展  
(東京藝術大学大学美術館陳列館 1F、東京都)

## 2025 年

「東京藝術大学 若手教員有志展」  
(天王洲セントラルタワー 1F アートホール、東京都)

## 成果発表作品



Constant Flux/ ブルーベリー、綿



Constant Flux/ ブルーベリー、綿



Constant Flux/ ブルーベリー、綿



Constant Flux/ ブルーベリー、綿



Constant Flux/ ブルーベリー、綿



Constant Flux/ ブルーベリー、綿

安曇野での滞在中に様々な農作物が栽培されていることを知り、生産者の方の思いやお話を聞くうちに地域の方との関わりから作品を作りたいと思うようになりました。廃棄する果実をいただき、拾い集めた枝で火を起し染めるという、普段とは全く異なる制作環境で試行錯誤

をしながらの制作でしたが、偶然生まれた色や、にじみが面白く多くの発見や学びがありました。自然と人との関わりを大切に安曇野で滞在し制作をする事で、ここでしかつくりだすことができない作品となりました。

## 取材・活動



有明山ファームの農園見学



人権共生×文化芸術フェスタ 染色ワークショップ参加者の成果物



リサーチ中印象に残り、作品に使用した画像



染液作り中



染液素材を提供していただいた有明山ファーム



明北小学校でのワークショップの様子



リサーチ中印象に残った景色



研成ホールにて人権共生×文化芸術フェスタワークショップ準備



リサーチ中印象に残り、作品に使用した画像。長峰山頂上からの眺め



## 成果発表作品



Replace/ 錫、木



ひと刻 / 錫



記憶の鋳型 / 錫、木



内にひそむ川の記憶 / 錫

## 堀田光彦

Mitsuhiro Hotta

Instagram ▶  
@MITSUHIKOHOTTA



HP ▶ <https://ateliersunflower08.wixsite.com/mitsuhirohotta/profile>

### 1991年

福岡県生まれ

### 2018年

東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 鋳金研究分野 修了

### 2022年

個展「堀田光彦展 Empathy」(東御市梅野記念絵画館・ふれあい館、長野県)

### 2024年

「MITSUKOSHI × 東京藝術大学 夏の芸術祭 2024」(日本橋三越本店、東京都)

「藝大 in 銀茶会」(銀座伊東屋、東京都)

「いもののかたち展 2024」(川口市立アートギャラリー・アトリア、埼玉県)

「芸術未来研究場展」(東京藝術大学大学美術館、東京都)

### 2025年

「東京藝術大学 若手教員有志展」

(天王洲セントラルタワー 1F アートホール、東京都)

「AAC 25周年記念展」(渋谷ヒカリエ 8階・COURT・8/CUBE1,2,3、東京都)

安曇野 AIR2025 は、普段とは異なる生活と制作環境の中で、自身の表現をあらためて見つめ直すことのできた充実した滞在となりました。安曇野で活躍する家具職人や造園業の方々との交流を通じ、素材や自然に向き合う姿勢、その眼差しの上に成り立つ技術に触れたことが大

きな着想となり、木と錫を組み合わせた新たな作品制作へとつながりました。安曇野での出会いは、表現の幅を広げる重要な要素でした。鐘の鳴る丘集会所において、初回のレジデンスとして参加できたことは、今後の制作につながる貴重な経験となりました。

## 取材・活動



印象に残った安曇野の景色



秀太郎工房にて作品の仕上げ方について相談



旧国鉄篠ノ井線廃線敷遊歩道漆塗トンネルの散策



大王わさび農場にて



堀金中学校ワークショップのための準備



鐘の鳴る丘集会所染色ワークショップ参加者の成果物



研成ホールにて人権共生×文化芸術フェスタワークショップ準備



鐘の鳴る丘集会所での作品制作



造園屋さんの庭でお茶をいただく



貞享義民記念館にて地域の歴史をリサーチ



## 成果発表作品



Everything is melting/ パラフィンワックス

# 大竹 麟花

Rinka Otake

Instagram ▶ @rinka\_oo\_



### 1996 年

東京都生まれ

### 2021 年

個展「捨てられぬおまけ」(古本イサド  
とら堂、神奈川県)

「ueno art park」(上野駅公園口改札外  
2F、東京都)

### 2022 年

東京藝術大学 大学院美術研究科 工芸専  
攻 鑄金研究分野 修了

東京藝術大学 共通工房 鑄造室 教育研究  
助手 着任

### 2024 年

「いもののかたち展 2024」(川口市立アー  
トギャラリー・アトリア、埼玉県)

個展「今、誰の番?」(瑞風工藝社、東京都)



雪形と作品に関するテキスト / リソグラフ印刷



Everything is melting/ パラフィンワックス



プリントしなかった写真 / パラフィンワックス、真鍮



プリントしなかった写真 / パラフィンワックス、真鍮



プリントしなかった写真 / パラフィンワックス、真鍮

約半年間、自宅から安曇野までの200kmの距離を幾度も往復しながら作品を制作するというのは初めての機会であり、自身の思考を深めることができた重要な時間でした。新幹線の窓から見える景色に段々と山が増えていき、その日の空気や湿度によって絶え間なく姿を変える

様子を見ながら、そして安曇野に住む皆さんの言葉の端々から感じられる山と人の関係性から、今回の制作のテーマが決まってきました。ここで体験したこと、生まれた考えや疑問は今後の物作りにおいて、大切な助言となる気がしています。

## 取材・活動



明北小学校でのアーティスト・イン・スクールの様子



自転車での市内散策中、印象に残った景色



明北小学校にて行った金属着色のワークショップ。銅板に好きな絵や文字を油性ペンで描いてもらったもの



自転車での市内散策中、印象に残った景色



堰と朝焼け



朝、鐘の鳴る丘集会所前に現れる猿



旧国鉄線 / 井線廃線敷遊歩道三五山トンネルの散策



蝶ヶ岳登山の道中



明北小学校のワークショップで着色した銅板を見比べている様子



研成ホールにて安曇野市人権共生×文化芸術フェスタ・メインシンポジウムの様子



穂高交流学習センター「みらい」にて成果発表展示「歩く景色、とどまる気配」を開催

## 東京藝術大学連携事業 安曇野アーティスト・イン・レジデンス

クリエイティブな人材育成と活力ある地域づくりにアートの力を活かすための取り組みとして、2022年から、東京藝術大学の学生または出身者を対象としたアーティスト・イン・レジデンス（AIR）を実施しています。アーティストが一定期間市内に滞在し、地域を調査したり、市民と交流しながら作品の制作を行います。若手芸術家にとって安曇野市が新たな創造の拠点となることを目指しています。

### 安曇野 AIR2025 日程

月日	石井淳	堀田光彦	大竹麟花
5月17日	滞在（以降、断続的に滞在）		明科駅周辺まちあるき、空き家空き店舗見学会参加、地域おこし協力隊と交流、滞在（以降、断続的に滞在）
5月18日	天蚕センター、あづみのさんぽ市、明科廃線敷見学	アトリエ宇（木工工房）、あづみのさんぽ市見学	アトリエ宇（木工工房）、あづみのさんぽ市、明科廃線敷見学
5月19日	鐘の鳴る丘集会所見学、打合せ、市長訪問	市長訪問	鐘の鳴る丘集会所見学、打合せ、市長訪問
5月20日		鐘の鳴る丘集会所見学、打合せ、秀太郎工房（木工）見学	
6月9日			明北小学校ワークショップ打合せ、市内散策
6月10日			高橋節郎記念美術館、御船会館、田淵行男記念館見学
6月17日		貞享義民記念館、高橋節郎記念美術館、碌山美術館見学、㈱ユニオン松本工場見学、金屑入手	
6月18日		法蔵寺にて彫刻家・中嶋大道さんの展示見学	
6月22日	豊科郷土博物館、湧水公園、大王わさび農園、明科廃線敷見学		
7月6日	ブルーベリー染色、クララ採集	木を縦に割って間に錫を流し込む実験	
7月17日	豊科北中学校ワークショップ打合せ		
7月20日	大王わさび農場、貞享義民記念館見学、クララ採集（堀田付添い）		
7月21日	打合せ、クララ染色実験	打合せ、錫の実験	
7月22日		鐘の鳴る丘集会所周辺に住む植木職人の梶さんと交流、さとぶろ。にて薪割り機で丸太を割る	
7月23日		さとぶろ。にて丸太を割る、堀金中学校ワークショップ打合せ	
7月24日		眼鏡橋の石材の型どり、秀太郎工房（木工）打合せ	
7月26日			豊科郷土博物館、犀川白鳥湖見学
7月27日			銅板腐食実験、チラシ制作、蝶ヶ岳登山準備
7月28日			蝶ヶ岳登山
7月29日			大町山岳博物館見学、銅板腐食実験
8月3日	ブルーベリー採集、実験	ワークショップ準備、穂高郷土資料館見学	
8月4日	ブルーベリー染色実験	堀金中学校ワークショップ	
8月16日			ワークショップ準備
8月17日			ワークショップ準備
8月29日	クララ、ブルーベリー抜染実験		
8月30日	クララ、ブルーベリー抜染実験		
9月2日	明北小学校アーティスト・イン・スクール、ワークショップ		明北小学校アーティスト・イン・スクール、ワークショップ
9月20日	ブルーベリー染色、抜染		早朝より撮影、烏川渓谷、穂高郷土資料館、長峰山
9月21日	ブルーベリー染色、抜染		高橋節郎記念美術館見学
10月3日			ワークショップ準備
10月4日	研成ホールにて安曇野市人権共生×文化芸術フェスタ（ワークショップ、シンポジウム）		
10月5日	鐘の鳴る丘集会所染色ワークショップ		
10月13日		秀太郎工房（木工）打合せ	
10月16日			作品搬入、展示準備
10月17日	作品搬入、展示準備、作品最終調整		
10月18日	作品搬入、展示準備、ギャラリートーク、展示後のインタビュー撮影 安曇野 AIR2025「歩く景色、とどまる気配」開催 展示会場：穂高交流学習センター「みらい」 会期 10月18日～26日		
10月19日	鐘の鳴る丘集会所表示作成	鐘の鳴る丘集会所表示作成、藝大鍍金研究室案内	
10月27日			鐘の鳴る丘集会所表示作成
10月28日	作品搬出		作品搬出
11月23日	片付け		
11月24日	片付け		

撮 影 石井淳、堀田光彦、大竹麟花、山田毅、irodorizm

協 力 有明山ファーム、秀太郎工房、県史恵、百瀬新治  
長野県×東京藝術大学 安曇野アーティスト・イン・レジデンス 2025 活動報告書

発 行 令和8年3月

安曇野市教育委員会教育部文化課文化振興担当 長野県安曇野市豊科 6000

電話：0263-71-2463 ファックス：0263-71-2338 e-mail：bunka@city.azumino.nagano.jp



安曇野 AIR HP

